

ワーク・ライフ・バランス



「仕事の時間」と「自分の時間」バランスとれていますか？

「ワーク・ライフ・バランスとは、性別・年齢を問わず、一人ひとりが仕事と自分の時間のバランスをうまく使い、仕事も自分の時間も充実させること。」日々の暮らしの充実があってこそ、生きがいや喜びは倍増します。

多様な働き方・生き方が選択できる社会

健康で豊かな生活のための時間が確保できる社会

就労による経済的自立が可能な社会

★意識を変えよう★労働慣行を見直そう★職場環境の整備に取り組みよう★

仕事も生活も大切！
「働き方改革」で働きやすく・休みやすく

家事・育児の現状



1997(H9)年以降逆転 ↑ 共働き世帯

総務省/社会生活基本調査

共働き世帯数

男性雇用者と無業の妻から成る世帯

1980/昭和55年	614万世帯	1,114万世帯
2017/平成29年	1,245万世帯	582万世帯



介護の現状

家事関連

家事、介護・看護、育児、買い物

2001/平成13年	31分/3時間41分
2021/令和3年	51分/3時間24分

- ★夫の家事・育児時間はやや増加
- ★妻の育児時間が増加

子育て期の家事・育児

2001/平成13年	48分/7時間41分
2021/令和3年	1時間54分/7時間28分

15歳以上で(1年間に30日以上)ふだん家族を介護している人

653万4千人

人口:107,124千人中 (令和4年/総務省)

育児と介護を同時に担う「ダブルケア」をする人

女性 16万8千人
男性 8万5千人

2016年以降男性が女性を上回っています
男性/2:26
女性/2:21

家族の介護や看護を理由とした

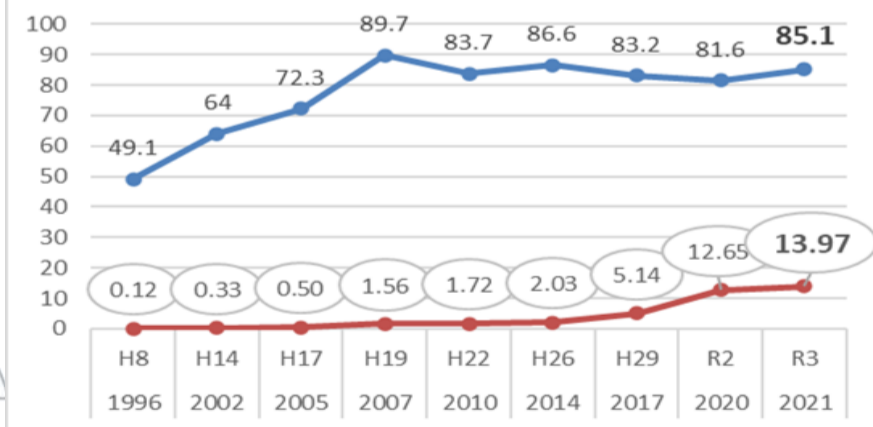
離職・転職 10万1千人

全体の75.8%が女性 (平成28年/内閣府)

休みは思い切り家族と過ごしたり、趣味の時間を持ちたい！

家事シェアで時間が出来たので、友達とお茶をしたり自分の時間を増やしたい！

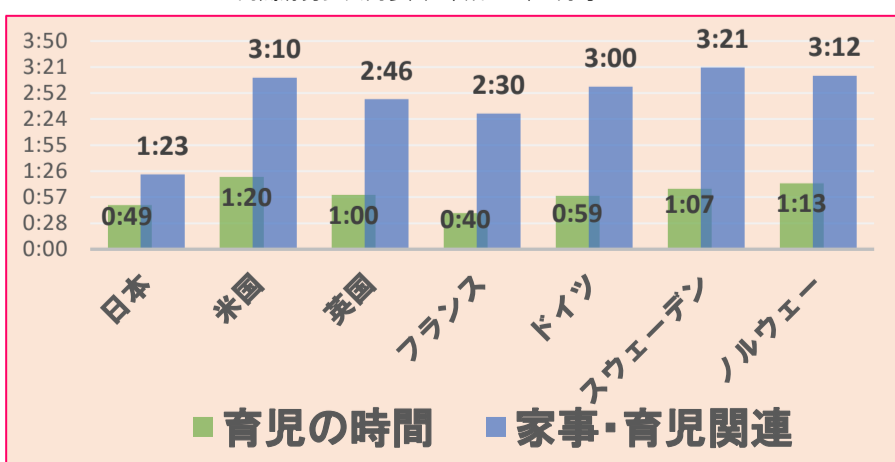
男女別育児休業推移



令和4年度厚生労働省雇用均等基本調査

夫の家事・育児/諸外国との比較

内閣府男女共同参画 平成30年5月号



育児・介護へ男性がもっと参画しよう

家事の得意不得意に性別は関係ありません
家族のシェアやお互いのサポートでどんな家事も出来るようにしてそれぞれの予定や休暇を大事にしよう



帯広市「ワーク・ライフ・バランス宣言」

帯広市では、ワーク・ライフ・バランスの実現に向けて、時間外勤務の縮減や年次有給休暇の取得促進、業務の改善・効率化、育児休業等を活用しやすい職場環境づくりなどの取り組みを進めています。

職員一人ひとりが主体的に自分自身や他の職員、家族等のために、ワーク・ライフ・バランス等に取り組み、安心して働き続けられる職場づくりを進めるため、市役所で働くすべての職員を対象に宣言を行い、宣言内容の共有や実施状況について振り返りを実施しています。